

第1回日本平公園基本計画改定専門委員会

○日時:令和6年5月16日(火) 13:00~

○場所:日本平公園

日本平ホテル 1階 ファンクションルーム三保

次 第

1. 日本平公園視察(13時40分頃~)

2. 開会(15時00分頃~)

3. 開会あいさつ(静岡市緑化政策担当部長)

4. 各委員の紹介

5. 事務局職員の紹介

6. 委員長・副委員長?選出

7. 議題

(1) 現基本計画の概要について

(2) 前提条件、本委員会での検討を要する事項の確認

(3) 法規制及び整備進捗状況の理解、求める姿の共有

(4) 観光、地域振興、パークマネジメント、交通、景観・ランドスケープ、
営農支援、コモンズ等の検討の視点について

(5) 全体議論のロードマップの確認

8. 閉会あいさつ(静岡市公園建設管理課長)

9. 閉会(16時20分頃)

□配布資料

○ 次第 ○ 委員名簿 ○ 席次表

○ 日本平公園基本計画改定専門委員会説明資料 ○ 参考資料

『風景美術館』 日本平公園

4

第1回 静岡市日本平公園
基本計画改定専門委員会

令和6年（2024年）5月16日

論点の整理 (第1回 日本平公園基本計画改定専門委員会240516)

■ご議論いただきたい論点

①日本平公園に求める姿は市の地域課題の解決に寄与するものになっているか

(地域課題)

○市の観光……宿泊客数が少ない、旅行客の滞在時間が短い、旅行客単価が低い

<静岡市の観光地> 三保松原、清水港、久能山東照宮、駿府城跡(公園)、浅間神社など

○日本平周辺……周遊性が低い、営農維持、市民参画が少ない

(求める姿)

○「観光地域づくり」に寄与……“絶景”の感動体験を堪能できる“サステナブルツーリズム”の拠点

○「魅力が高まり、“人”、“知”が集まる」 → 「投資・資金が集まる」 → 「地域振興」

→ 「魅力が高まり、“人”、“知”が集まる」……好循環を生み出す観光拠点 ……P13

②全体として、どのような視点が重要か ……P14

③検証事項やロードマップは、日本平公園に求める姿の実現に向けたものになっているか

(検証事項) ……P15～16 (ロードマップ) ……P17

富士山

三保半島

所在地 静岡県静岡市清水区草薙・馬走・村松地内（国指定名勝日本平、日本平自然公園を含む）
 計画面積 都市計画決定面積 88.5ha（2024年から基本計画改定予定のため情勢に応じた変更の可能性あり）
 基本テーマ 「風景美術館＝日本平」
 公園特徴 四方の眺望に優れ、特に清水越しに富士山を望む眺望点として古くから観光地として栄える
 主な施設 日本平夢テラス（静岡県）、展望回廊、大芝生広場、徳富蘇峰が評した眺望点
 日本平ロープウェイ（㈱静岡鉄道）、日本平ホテル（㈱日本平ホテル）
 周辺施設 久能山東照宮（国宝）、三保松原（世界遺産構成資産）、清水港（世界で最も美しい湾クラブ加盟）、
 登呂遺跡（国特別史跡）
 受賞歴等 観光地百選平原の部1位、日本夜景遺産

IAIスタジアム日本平

都市計画決定範囲 都市公園（風致公園）

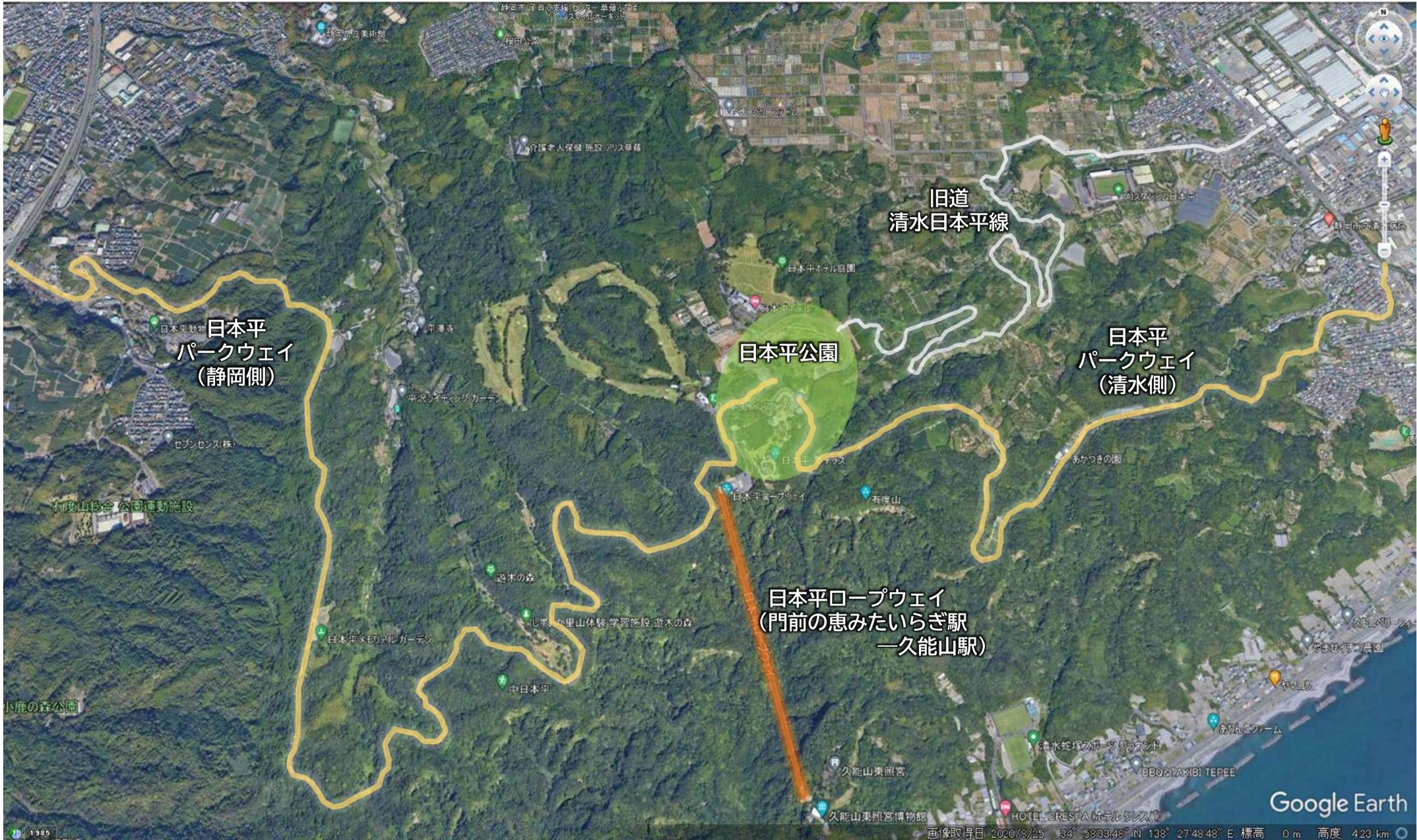
久能山東照宮



日本平公園の位置



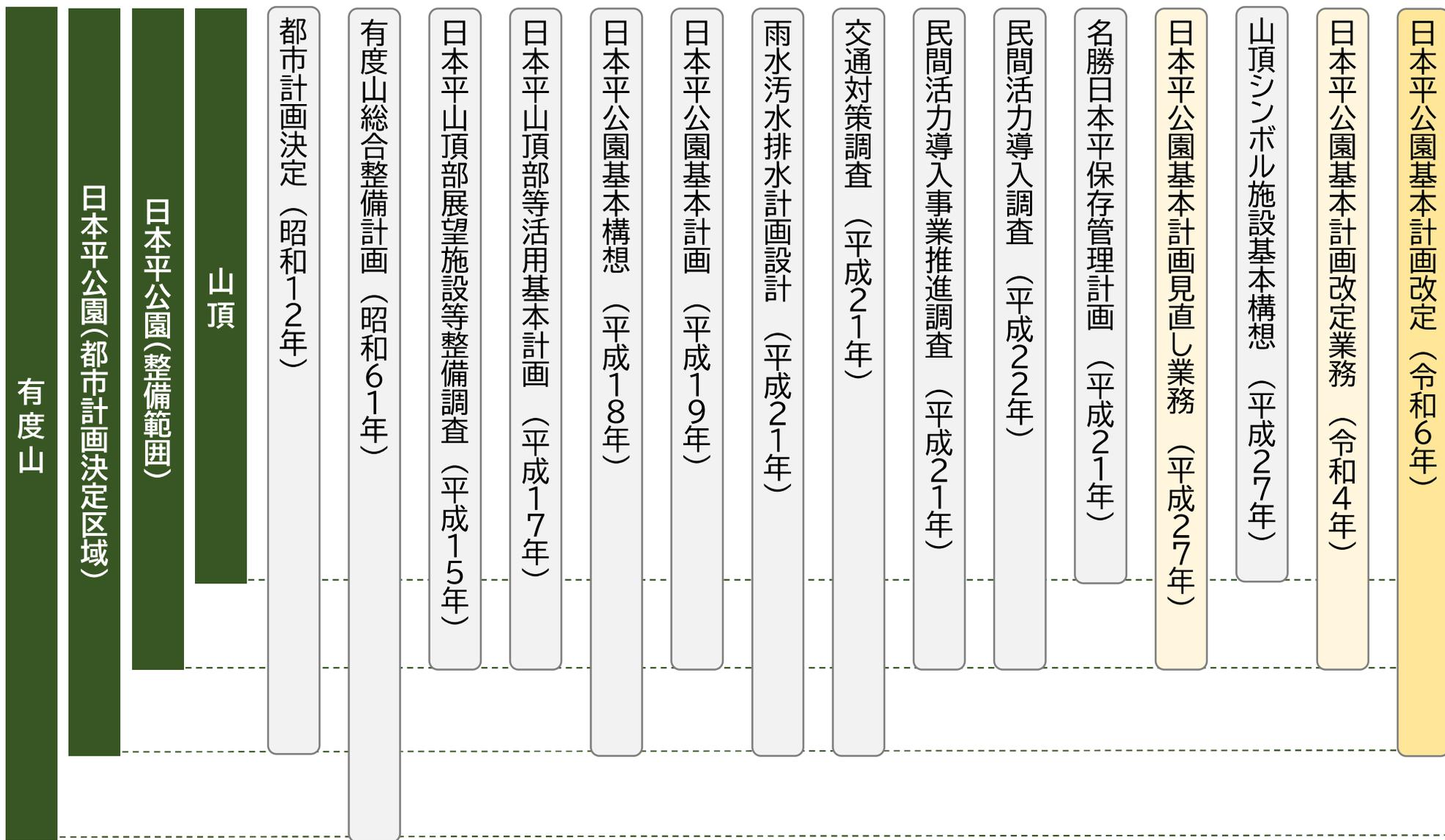
日本平公園の位置 (主要アクセスルート)



日本平公園整備これまでの経緯

年	西暦	ことごと	実施者	概要
大正15	1926	徳富蘇峰が日本平登頂	徳富蘇峰	「実に天下第一と申し支えあるまいと思う」
昭和2	1927	日本百景 平原の部入賞	大阪毎日・東京日日	
昭和7	1932	名勝日本平仮指定(史蹟天然記念物保存法第1条に基づく)		その後新法改正により本指定となる
昭和8	1933	旧都市計画法に基づく風致地区指定		旧法制定直後の「風致地区」が、史跡名勝天然記念物の補足的予防手段と考えられていた
昭和9	1934	日本平登山道路開通(昭和5年から掘削開始)	清水市	観光開発のきっかけ、旧道
昭和10	1935	清水市が徳富蘇峰に委嘱し展望4か所に石碑建立	清水市	吟望台、鐘秀台、超然台(有度山山頂)、望嶽台
昭和12	1937	日本平公園 都市計画決定		
昭和25	1950	日本観光地百選 平原の部1位	毎日新聞	石碑あり(県営駐車場内)
昭和26	1951	日本平県立公園 指定	静岡県	県自然公園条例の前身
昭和28	1953	静岡県による日本平山頂の土地買い上げ、公園整備実施	静岡県	駐車場、公衆トイレ、芝生広場
昭和32	1957	ロープウェイ建設	静岡鉄道	
昭和32	1957	6月30日仮指定失効(文化財保護法附則による)、 7月1日文化財保護法第70条1項による仮指定		
昭和34	1959	名勝指定「名勝日本平」		
昭和36	1961	静岡県自然公園条例に基づく「日本平県立自然公園」指定	静岡県	日本平ゴルフクラブ開業
昭和37	1962	旧文化財保護法第71条の2第1項に基づき、旧清水市が管理団体に指定		
昭和39	1964	日本平ホテル本館建設	日本平ホテル	
昭和39	1964	日本平パークウェイ供用開始(有料道路)	静岡県道路公社	静岡側
昭和47	1972	日本平県立自然公園運営協議会発足		
昭和47	1972	清水日本平パークウェイ開通	静岡県道路公社	清水側
昭和54	1979	日本観光百選コンクール 第1位	週刊読売	石碑あり(山頂園路脇)
昭和58	1983	名勝日本平保存管理計画策定		
昭和58	1983	静岡県教育委員会に権限委任		
平成元	1989	有度山総合整備計画-基本計画-策定(S61-63)	旧静岡市・清水市・静岡県	有度山整備の基本となっている計画
平成4	1992	日本平公園基本構想・基本計画	静岡県	
平成15	2003	日本平山頂部展望施設等整備調査	旧静岡市・清水市	旧静岡市と旧清水市が合併
平成15	2003	県営駐車場建設	静岡県	
平成16	2004	日本平パークウェイ無料開放(市道池田日本平線)	静岡市	
平成17	2005	日本平山頂部等活用基本計画	静岡市	静岡市が政令指定都市に移行
平成17	2005	地上波デジタル塔建設(電波塔統合)	6社	
平成18	2006	日本平公園基本構想	静岡市	
平成19	2007	名称変更「日本平・三保松原県立自然公園」		
平成20	2008	日本平公園基本計画策定	静岡市	
平成22	2010	社会総合交付金 事業認可 久能山東照宮(社殿)国宝指定	静岡市	
平成24	2012	日本平ホテル再築(リニューアルオープン)	日本平ホテル	特許事業(都市計画法第59条第4項) MINT機構制度利用により、日建設計
平成25	2013	世界文化遺産「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」登録		
平成25	2013	公園供用開始	静岡市	
平成27	2015	基本計画改定(1回目)	静岡市	山頂施設整備に伴う
平成28	2016	日本夜景遺産 自然夜景遺産に認定 富士三大夜景に認定(2019)	(一社)夜景観光コンベンション ビューロー	都市公園法改正(パークPFI制度ほか;2017)
平成30	2018	県シンボル施設建設(日本平夢テラス)	静岡県	隈研吾氏設計
平成30	2018	市展望回廊建設(日本平夢テラス)	静岡市	隈研吾氏設計 コロナ禍(2019~)
令和3	2021	ロープウェイ駅舎「門前の恵みたいらぎ」再築	静岡鉄道	
令和5	2023	基本計画改定(2回目) NHK大河ドラマ「どうする家康」放送	静岡市	園路変更等に伴う

日本平公園のこれまでの計画体系



日本平公園 現況の概要

公園概要

- 所在地 清水区草薙・馬走・村松
 - 開園日 平成25年9月9日（静岡市供用）
 - 区域区分 市街化調整区域
 - 公園分類 特殊公園（風致公園）
 - 公園面積 8・88ha（R3年度末時点）
 - 計画面積 基本計画33ha（88・5ha）
 - 都決時期 昭和12年4月9日 告示
 - 基本テーマ 風景美術館＝日本平
 - 主な施設 展望回廊、平原ゾーン、アクセス道路、公園駐車場（第3駐車場：234台
山頂：身障者用3台）
※県営駐車場は普通車140台（第1～第3計）と、バス20台が別途供用されている。
※このほか、日本平ホテルの駐車場を借用する場合がある。
- 令和5年5月 現在

整備概要

- 1期整備：平成22年から開始、令和12年完了予定
アクセス道路、平原ゾーン、展望回廊 など
- 2期整備：令和7年開始予定、令和13年完了予定
公園第一駐車場、山頂園路
- 3期整備：令和12年開始予定、令和18年完了予定
公園センターゾーン
- 総工費：100億円（想定）

周辺主要施設

- 日本平夢テラス（園内、隈研吾氏設計）
- 日本平ホテル（園内）
- 売店等（園内：月日星、川崎屋、お茶会館）
- 日本平ロープウェイ駅、売店（園内）
- 久能山東照宮（国宝）
- 石垣イチゴ
- 三保松原（富士山世界文化遺産構成資産）
- 清水港（三大美港、大型客船寄港）
- 日本平動物園（レッサーパンダ）
- 日本平スタジアム（清水エスパルス フランチャイズ）
- 駿府城址
- 登呂遺跡

日本平にまつわる逸話、受賞歴など

- 日本武尊伝説
- 徳富蘇峰による4か所の眺望点
- 赤い靴物語（野口雨情）
- ちゃつきり節（北原白秋）
- 景観百選 平原の部1位
- 日本夜景遺産

日本平公園基本計画見直し 現基本計画について

《日本平公園基本計画について》（根拠法令等 都市計画法11条 都市計画公園）

- 昭和12年に88.5haが都市計画決定された日本平公園は、昭和28年に静岡県により駐車場・トイレ・芝生広場を設置する公園整備がされて以降長く未着手の状態が継続。
- 平成4年に静岡県が「日本平公園基本構想・基本計画」を策定。
- その後合併後の新静岡市に整備主体が移り、県の計画を引継ぐ。公園整備を具体化するため基本構想を経て平成19年に策定したものが「日本平公園基本計画」。
- 「日本平公園基本計画」では事業着手に主眼が置かれ、都市計画決定区域88.5haのゾーニングに言及する一方、計画目的を「利活用を主目的とする～比較的平坦な区域33.0haについて基本計画を行う」とした。同平成19年度に「日本平公園基本設計」を策定、平成22年に整備事業着手し現在に至る。

今回の基本計画見直しで、

- ・ 都市計画決定区域 88.5haについて
- ・ 都市計画決定区域内の保全部分・整備部分を再度検証
- ・ 検証後整備を行う部分の機能を社会情勢等に併せ見直し …等を実施

《基本計画策定までの経緯》

計画等名称	策定期期	策定主体	区域	主な目的・直前の計画等との関連
日本平公園都市計画決定	昭和12 (1937)	静岡県	88.5ha	名勝仮指定(昭和7)、風致地区指定(昭和8)を受けて内務省通達を受け都決
日本平公園基本構想・基本計画	平成4 (1992)	静岡県	88.5ha	都決後、日本平公園についての初めての計画
日本平山頂部展望施設等整備調査	平成15 (2003)	旧静岡市・清水市	有度山一帯	有度山の土地活用見直しが主体だが、山頂部88.5haのゾーニング見直しも含め策定
日本平公園基本構想	平成18 (2006)	静岡市	88.5ha	山頂部展望施設等整備調査で取り上げていない内容検討、具体性ある計画策定
日本平公園基本計画	平成19 (2007)	静岡市	88.5ha (33.0ha)	これまで実現に至らなかった公園整備計画の具体化・現実化に向けた課題整理、解決方策の検討実施

●現計画での整備予定範囲



《現基本計画の範囲の考え方》

「日本平公園基本計画（H19）」にて、都市計画決定範囲88.5haのうち、『利活用を主目的とする～比較的平坦な区域33.0haについて基本計画を行う』とした。

（残範囲についてはゾーニングや方針を設定）

同H19年度に「日本平公園基本設計その1」にて、比較的平坦な区域（33.0ha）のうち、平原ゾーン（8.5ha）を対象とし、具体整備に着手。その後「日本平公園基本設計（H21）」にて駐車場や観富の丘ゾーン（山頂部）など33.0ha内の設計を行った。これにより、都決範囲88.5haのうち33.0haの具体的整備を行う方針が定まり、現在に至る。

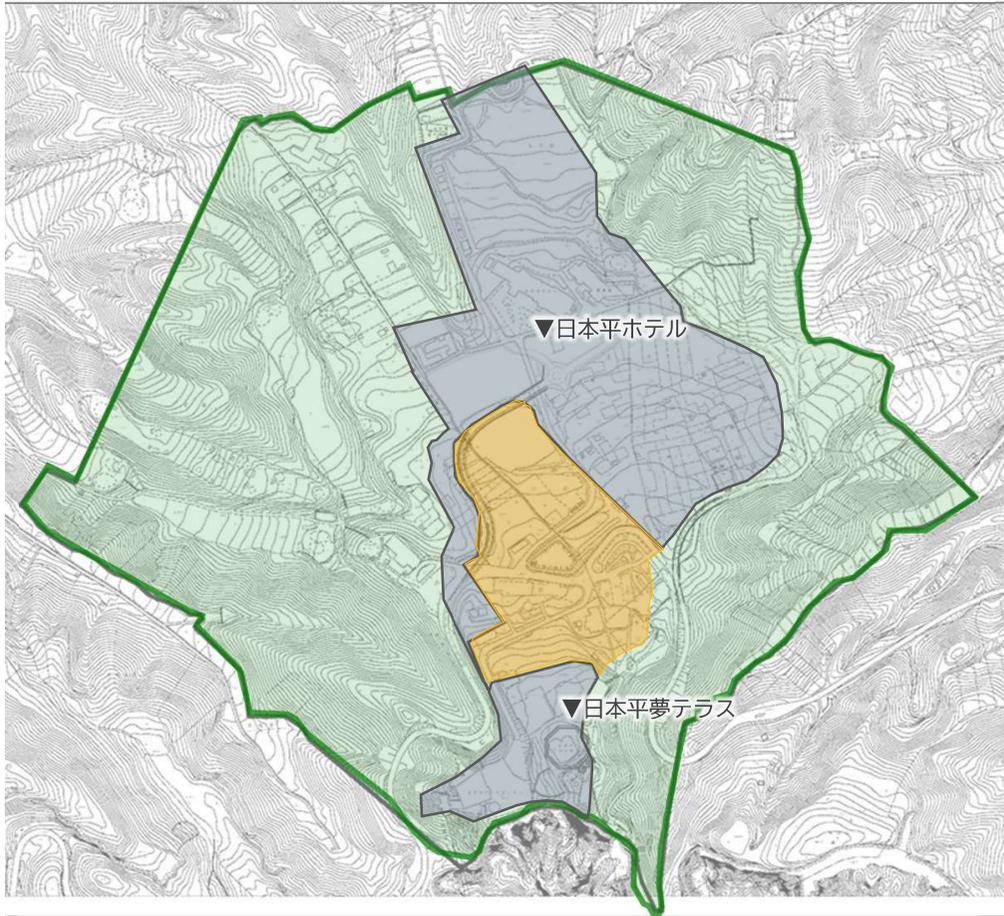
下記事項の見直し、検証を行う

- ①交通計画（アクセス手段、駐車場規模 等）
- ②施設計画、民活導入計画（整備、管理運営 等）
- ③維持管理方針（芝生広場、植栽地 等）
- ④観光計画との連携、地域振興
- ⑤茶畑景観（保全、営農支援 等）
- ⑥公園全体のランドスケープ

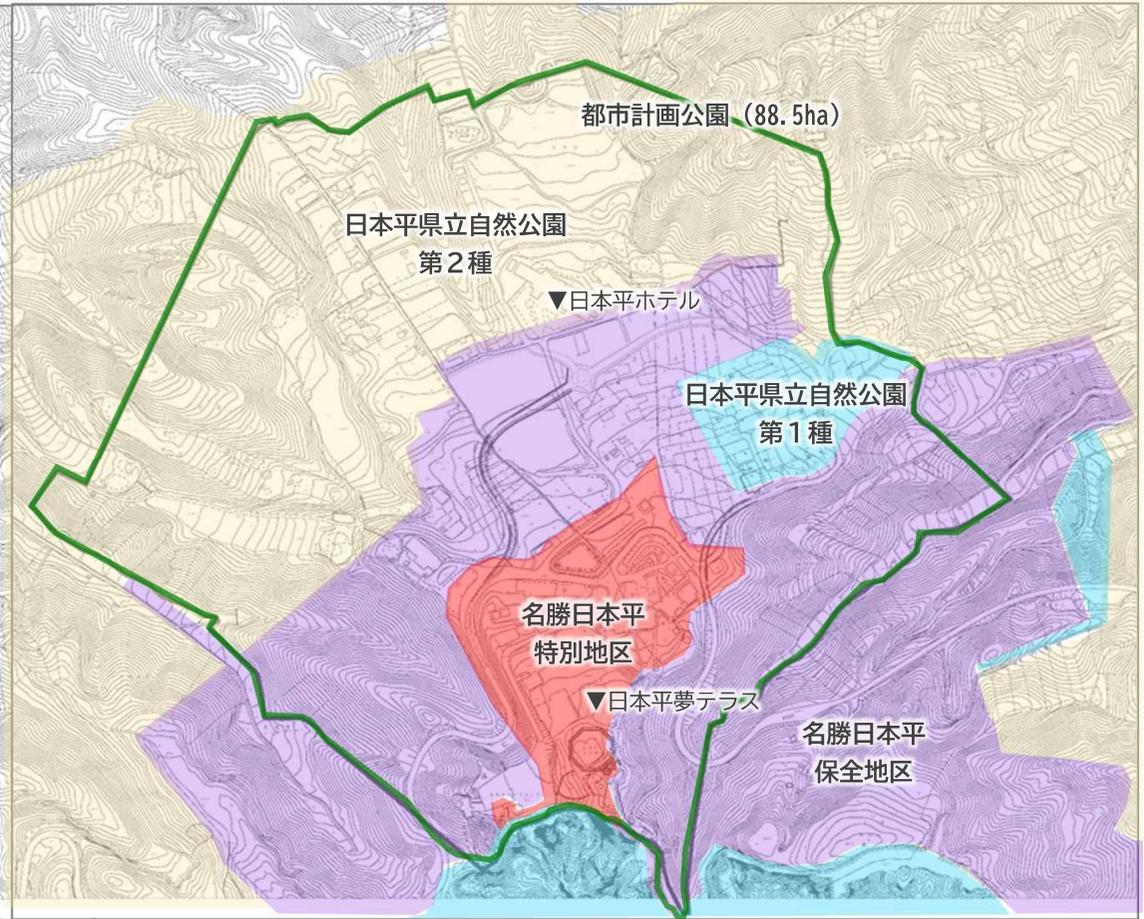
上記を見直すことにより、公園区域全体が基本構想で定めるコンセプト「風景美術館＝日本平公園」を達成。（目標像自体の変更はない）

見直しの対象範囲について

●見直しの対象範囲



●日本平山頂部の主な法規制等範囲



《凡例》

- …都決範囲(公園)
- …第1期範囲(民間含)
- …今後整備予定範囲

《凡例》

「国指定名勝日本平」(文化財保護法)

- ・特別地区(A地区) …
展望地点として中心となる区域
- ・保全地区(B地区) …
展望地点の周囲に展開し、指定要件の価値を保全する地域

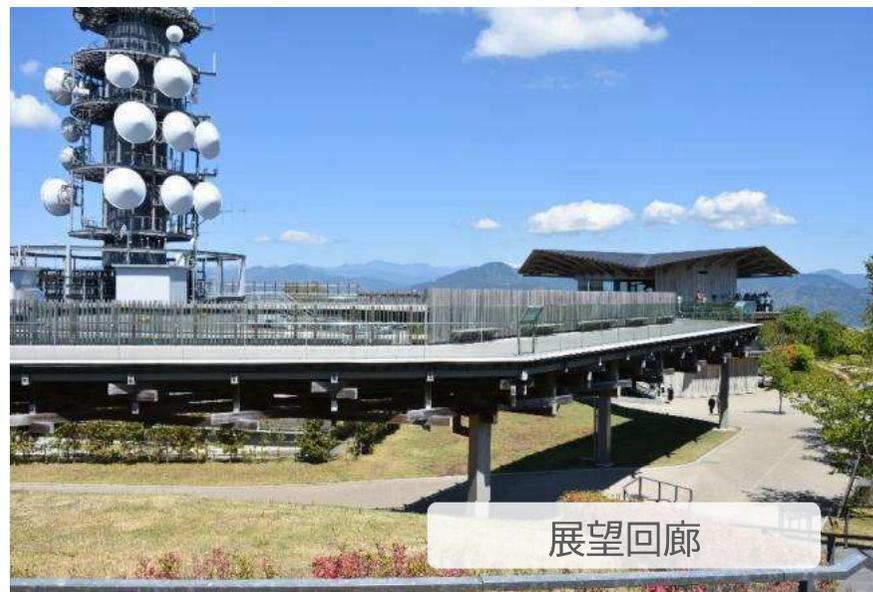
「都市計画決定区域」(都市計画法)

- 都市計画公園 …
- 「有度山風致地区」、「市街化調整区域」(都市計画法) … 図の全域が対象

「日本平県立自然公園」(県条例)

- ・第1種特別地域…
- ・第2種特別地域…

整備進捗状況（1期整備部分）



改定のねらい・・・「観光」による「地域」づくりに貢献する公園

現計画策定（H19）から**16年経過** → **時代に即した「風景美術館＝日本平」計画を再構築**
（この間、日本平公園を取り巻く周辺状況や社会状況、法制度が大きく変化している）

「名勝 日本平」の価値の最大化

時代に即した計画 → 市民や関係者の「納得」と「共感」が得られる

「人」、「知」が集まる

「資金」が流れ込む

好循環

地域振興、地域課題の解決

（現計画）観光交流拠点となる公園・・・観光地づくり



（改定計画）地域の魅力を高め、地域のサステナビリティに貢献する公園・・・観光地域づくり

日本平公園基本計画改定（見直し）に求める視点

《名勝日本平の価値の最大化に資する公園づくり》 《地域課題の解決に資する公園づくり》

- 地域への投資を呼び込む…適切な目的・整備、取り組みの連坦（好循環）、パークマネジメント
- 魅力、インセンティブの“見える化”…静岡市の市場での評価が上がる→投資家に選ばれ資金が流れ込む好循環
- 日本平のポテンシャルを活かしきる魅力向上で観光客、滞在時間が増加 → 経済効果
- アクセスのあり方…パーク&ライド、自動運転、次世代モビリティ、デマンド、駐車場
- 景観の向上、保全の仕組みづくり
- 都市計画決定区域の検証
- 市民のWell-being向上
- その他

各分野 = 「公園」「交通計画」「観光」「地域振興」「ランドスケープ」
「パークマネジメント・民活」「農業・環境」「commons」「地域プレイヤー」

からの専門的な知見により、

時代に即した計画 → 納得と共感を得る → 「人」, 「知」が集まる

基本計画改定（見直し）にあたっての検証事項

①交通計画

- 公園へのアクセス手段は十分か、山頂での駐車場規模をどのように考えるか
→パーク&ライド、新交通システムの導入可能性は
- 距離と高低差がある駐車場から山頂への移動や広大な公園内の移動支援について

②施設計画、民活導入計画

- 現計画では公園管理棟を含む施設が配置されているが、管理・運営主体についての記載は無い
- 現存周辺施設の統合などについて(ヒアリング済ませておく)、どう考えるか
→管理だけでなく整備・運営手法もセットで検討

③維持管理の方針

- 広大な芝生広場、植栽地、センターハウスなど、維持管理の負担が大きな施設について、(観光地としてのレベルの)十分な維持管理が可能か、施設規模は適正か
→「運営」とセットでの民活導入が可能か

基本計画改定（見直し）にあたっての検証事項

④観光計画との連携、地域振興 ＝「観光地域づくり」

- 市の観光計画、観光施策と日本平公園基本計画との整合(位置づけ)について
- 有度山山頂と周囲の地域振興をどのようにつなげて考えるか、基本計画に記載するか（富士山世界文化遺産構成資産(三保松原)、国宝久能山東照宮、夜景遺産、清水港、いちご街道、駿府城址などとのツーリズム(回遊性)など)
- 観光や地域振興を踏まえた施設機能をどのように考えるか

⑤茶畑景観について

当初公園敷地内にあった茶畑を買収し、平原ゾーン(芝生広場)として整備している

- 公園植栽として茶畑を整備(景観茶畑)する必要があるか
- 既存の「手もみ茶体験施設」の機能を存置する(現計画)ことについて
- 公園整備区域外(33ha外)の茶畑の営農維持支援の仕組みについて

⑥公園全体のランドスケープについて

- 様々な検証を踏まえ、公園全体をどのようにリデザインするか
- 現状地形を活かす(残す)部分と造成する部分をどう計画するか

令和6年～7年 全5回 開催予定	【各回の主な審議内容】
≪第1回 テーマ≫ ～本委員会の役割について～ 令和6年5月16日 開催	<ul style="list-style-type: none"> ●日本平公園の現状等の確認(現地視察) ●各委員の紹介 ●現基本計画の概要について ●前提条件、本委員会での検討を要する事項の確認 ●全体議論のロードマップ(全5(6)回)の確認 ●法規制及び整備進捗状況の理解、求める姿の共有 ●観光、地域振興、パークマネジメント、交通、景観・ランドスケープ 営農支援、commons等の検討の視点について
≪第2回 テーマ≫ ～計画の方向性について～ 令和6年9月中旬 開催予定	<ul style="list-style-type: none"> ○日本平公園の利用促進に向けてのWebアンケートの実施 ●日本平公園の位置づけ、役割の整理と見直しの内容検討 ●観光振興に配慮した周辺観光地との連携強化、周遊性向上の検討 ●コンセプト、利用計画、ゾーニング、施設整備、公園区域の方向性の検討 ●観光、地域振興、パークマネジメント、交通、景観・ランドスケープ 営農支援、commons等の横断的視点での検討課題の抽出
≪第3回 テーマ≫ ～公園の計画方針について～ 令和7年2月上旬 開催予定	<ul style="list-style-type: none"> ●アクセス及び園内動線の快適で円滑な移動手段のあり方の検討 ●駐車場、主要な公園施設等の機能、規模、空間構成の検討 ●利用計画方針、施設配置方針、施設計画方針等の検討 ●事業促進に留意した民間活力導入等の整備手法の検討 ●地域振興、地域連携等に配慮された管理運営方針の検討 ●営農支援、commons等による保全すべき森林や茶畑の取組み方針の検討
≪第4回 テーマ≫ ～公園の計画内容について～ 令和7年4月中旬 開催予定	<ul style="list-style-type: none"> ●施設配置計画、動線計画、施設計画、景観計画等の設定 ●公園区域の設定と公園整備に向けた事業計画の設定 ●「観光地域づくり」に繋がる管理運営・公園利活用方法の設定 ●保全すべき森林景観や茶畑の景観保全に資する仕組みの設定
≪第5回 テーマ≫ ～まとめ～ 令和7年6月下旬 開催予定	<ul style="list-style-type: none"> ○パブリックコメントの実施
≪第5回 テーマ≫ ～まとめ～ 令和7年6月下旬 開催予定	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでの議論による計画案の内容確認と審議 ●引き続き検討すべき事項の確認

日本平公園基本計画改定スケジュール

